



地球最南端、南極点への旅

SOUTH POLE FLIGHTS

遙かなる南の果てへ！ 偉大な探検家たちの足跡を訪ねて地球最南端の南極点を目指します。
 ロアール・アムンゼンとロバート・ファルコン・スコット…現代に名を残す勇敢な探検家が、地球の最南端に辿り着いてからおよそ100年。
 地球最後の聖地・南極点は、今もなお人々を魅了して止みません。人は何故この地を目指し、そこで一体何を感じるのでしょうか。
 それを確かめるべく今、壮大な冒険がはじまります。

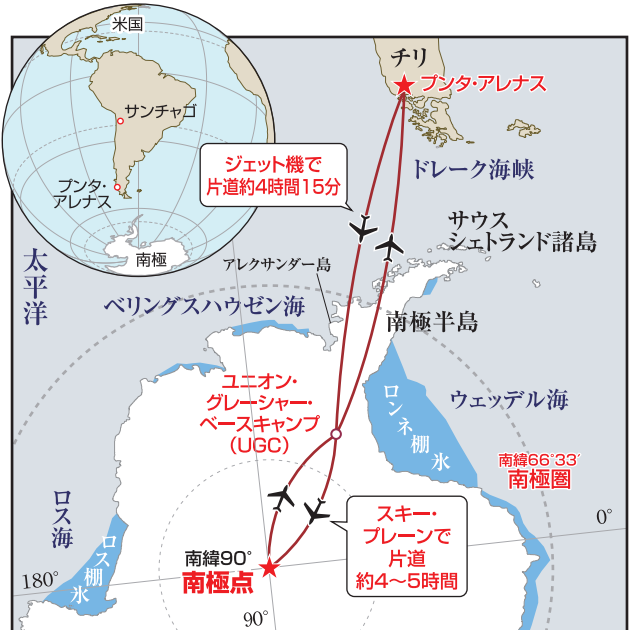
●期日と代金(大人/お一人様)

コースNo.	期日	期間	旅行代金
SP1	2015年 12月 7日(月)～12月13日(日)	7日間	US\$47,200
SP2	// 12月13日(日)～12月18日(金)	6日間	
SP3	// 12月29日(火)～1月3日(日)	6日間	
SP4	2016年 1月 3日(日)～1月9日(土)	7日間	



◆下記のスケジュールは、**モデルプラン**です。参考としてください。
 この旅行には、**網かけの部分以外は、旅行代金に含まれておりません。**
 網かけ部分以外の宿泊や食事は、別途代金にて手配を承ります。

日次	月日(曜)	都市名	発着	時刻	日程	宿泊
1	12/3(木)	東京・成田	発	午後	成田発、空路米国内都市へ	機中
		米国内都市	着	午後	着後、入国・通関手続き 手続終了後、乗り換えて	
		米国内都市	発	夜	米国内都市発、空路サンチャゴへ	
2	12/4(金)	サンチャゴ	着	午前	着後、入国・通関手続き 手続終了後、乗り換えて	プタ・アレナス
		サンチャゴ	発	午後	サンチャゴ発、空路プタ・アレナスへ	
		プタ・アレナス	着	午後	着後、出迎えを受けて市内のホテルへ	
3	12/5(土)	プタ・アレナス	終日	予備日 ※南極旅行に備えて体調を整えます	プタ・アレナス	
4	12/6(日)	プタ・アレナス	午前	南極点旅行の説明会及び装備品のチェック	プタ・アレナス	
5	12/7(月)	プタ・アレナス UGC	発着		南極大陸へ向けて出発 ユニオン・グレイシャー・ベースキャンプ(UGC)到着	南極大陸 UGC
6	12/8(火)	UGC			ユニオン・グレイシャー・ベースキャンプ(UGC)にてオリエンテーション	南極大陸 UGC
7	12/9(水)	UGC			南極点到達と南極大陸探検	南極大陸 UGC
8	12/10(木)					
9	12/11(金)					
10	12/12(土)					
11	12/13(日)	UGC プタ・アレナス	発着		ユニオン・グレイシャー・ベースキャンプ(UGC)発、プタ・アレナスへ 着後、出迎えを受けて市内のホテルへ ホテルにチェックイン	プタ・アレナス
12	12/14(月)	プタ・アレナス サンチャゴ サンチャゴ	発着発	午後 夜 夜	プタ・アレナス発、空路サンチャゴへ 着後、乗り換えて サンチャゴ発、空路米国内都市へ	機中
13	12/15(火)	米国内都市	着	早朝	着後、入国・通関手続き 手続終了後、乗り換えて	機中
		米国内都市	発	昼	米国内都市発、空路帰国の途へ 〈国際日付変更線通過〉	
14	12/16(水)	東京・成田	着	午後	成田着後、通関・解散	



※交通機関ならびに時刻は変更になることがあります。 ※UGC/南極大陸「ユニオン・グレイシャー・ベースキャンプ」の略称



■詳細日程

●フンタ・アレナス到着

チリのフンタ・アレナスには、南極大陸へ出発する日の**2日前(48時間前)**迄にご到着ください。事前に到着日や便名、到着時刻をご連絡頂ければ、空港でお迎えし、ホテルまで送迎いたします。

フンタ・アレナス泊

●飛行準備

南極大陸へ出発する前日の午前中に飛行準備のための説明会が開かれます。飛行情報、最新の天候、南極大陸到着時の行動などについての説明があります。生涯における最高の旅ですので、お客様にご満足いただけるよう質問や同行する他のお客様との歓談のお時間も設けております。



説明会終了後、注文いただいたレンタルの衣料品をお渡し致します。南極に持っていく荷物の入念なチェックを行い、翌日の出発便に積み込む荷物をお預かり致します。尚、飛行機に持ち込める荷物には重量制限がありますのでご注意ください。

飛行機で訪れるにもかわらず、世界で最も到達困難な場所の一つが私たちの目指す南極大陸内部です。

予定通り出発出来るようあらゆる努力を致しますが、天候に左右される飛行機の運航は、適切な判断により進められますので、予めご了承ください。

フンタ・アレナス泊

第1日目 南極大陸を目指し、フンタ・アレナスを出発

いよいよ壮大な冒険へと旅立つ朝を向かえました。

南極大陸への運航状況について午前中にお客様に電話でご連絡いたします。冒険の拠点となるユニオン・グレイシャー・ベースキャンプへの飛行が可能な天候状況であれば準備を整えて、バスで空港へ向かいます。

空港では、すべての手荷物のX線検査及びセキュリティー・チェックを行います。通常の定期運航便と同様、鋭利な物などの危険物は手荷物、携行品を問わず機内への持ち込みはできません。

続いて出国手続きをします。搭乗まで少し余裕がありますので、出発前の記念撮影などもいいでしょう。搭乗後、客室乗務員による機内での安全についての案内が行われ、飛行機は、いよいよ南極大陸へ向けて飛び立ちます。

フンタ・アレナスからユニオン・グレイシャー・ベースキャンプまでの飛行時間は約4時間15分を予定しています。

離陸後、間もなく窓の外には、フエゴ島が見えてくるはずですが、この地名は、ポルトガル人探検家フェルディナント・マゼランが名付けたといわれます。そのフエゴ島を過ぎると、そこは暴風吹き荒れる海の難所として知られるドレーク海峡です。

南緯60度付近で、氷の海の冬季限界線に達します。この一帯は南極収束線と呼ばれ、様々な野生生物や海鳥たちが厳しい自然に適応し力強く生きています。ここより南極条約が適用される地域となります。

南緯66度33分を越えると南極圏となります。ここでは夏至(12月22日)には太陽が沈む事は無く、冬至(6月22日)には太陽が昇ることがありません。ここより南方では昼夜の境がなくなり、南極点では日の出と日没が年に一度だけとなります。日常との違いを徐々に実感してくる事でしょう。

さらに南方へと飛行は続きます。天気が良ければ、眼下には驚異の卓上氷山や棚氷を見ることが出来ます。やがて、南緯71度のペリングスハウゼン海に浮かぶ雪と氷に覆われたシャルコー島が見えてきます。

遠くには南極大陸のエルズワース山脈が姿を現し始めます。その山脈に沿って飛行し、南極点観光の拠点となるユニオン・グレイシャー・ベースキャンプのブルー・アイスの滑走路に着陸。南極大陸に感動の一步をしるします。目の前には鮮やかな氷の大地が広がります。ここは海拔約700mのブルー・アイス地域で、山脈から吹き下ろすカタバチック風(斜面滑降風)によりまったく雪が積もっていない光景をご覧いただけます。スタッフの温かな歓迎を受け、特別仕様の四輪駆動のバンで約8km先のベースキャンプを目指します。

ユニオン・グレイシャー・ベースキャンプに到着

宿泊施設の説明後、歓迎のお食事をゆっくりとお楽しみください。

南極大陸／ユニオン・グレイシャー・ベースキャンプ泊

第2日目 キャンプにてオリエンテーション開催

午前中は、ユニオン・グレイシャー・ベースキャンプと南極大陸についてのオリエンテーションが行われます。ベースキャンプ滞在中の安全な生活方法や天候についての最新情報を得ることが出来ます。

終了後、残りの時間は南極点旅行を最大限お楽しみいただけるようゆっくりとお休みください。

南極大陸／ユニオン・グレイシャー・ベースキャンプ泊

第3～6日目 南極点到達と南極大陸探検

南極点への飛行は、天候と手配が許す限り最初の日に行われます。最大の目的である地球最南端・南極点到達の前夜の期間は、南極大陸の大自然の静寂と聖なる威厳を存分にお楽しみください。

また、この数日間は、この地でしか味わうことの出来ない貴重な体験にあふれています。

南極点への飛行当日

朝食をとり、スタッフによる最終の天候確認後、いよいよ人類が到達し得る世界最南端へと出発します。同日中の帰還を予定しておりますが、天候状況により途中で野外キャンプの宿泊を余儀なくされる場合がありますので、寝袋や装備品、食料もご用意いたします。

以下には基本的な南極点観光のプランを記述しますが、南極大陸での天候等の予測は難しく、その大いなる自然へと挑みます。詳細及び旅程は記述と異なる場合がありますので予めご了承ください。

ユニオン・グレイシャー・ベースキャンプを飛び立ち、南極点までは南極高原の上空を飛行する約4～5時間の旅となります。眼下にはサスツルギと呼ばれる風の影響を受けた雪原や時折姿を現すクلبスの原野、そして果てしなく広がる銀世界を見ることが出来ます。途中、南極点までの中間地点シール山脈に立ち寄り燃料を補給します。補給には約1時間かかりますので、近辺の散策を楽しんだり、軽食をお召し上がりください。

標高3,000mを超える地点で過ごしていますので、十分な水分補給と食事をとり、エネルギーを蓄えることをお勧めいたします。※途中の給油地にはトイレがあります。

再び、飛行機は飛び立ち、南緯90度に近づいていきます。そして、偉大な探検家たちに敬意を表して名づけられたアムンゼン・スコット基地に着陸します。南極点での気温は、-35℃～-25℃ですので少しの風でもたちまち露出した皮膚は凍ってしまいます。飛行機から降りる前に十分な防寒対策と外気に触れる手や顔には特別な注意を払ってください。尚、カメラ撮影の際に手を守ってくれる手袋を忘れないよう着用してください。

南極大陸の標高は、3,300m～4,000mです。息切れや軽い頭痛など高所による影響を感じる場合があります。その際は体を慣らすために無理をなさらずゆっくりと落ち着いて行動してください。南極点での滞在は3～4時間を予定しています。低温状態と寒冷な高地を考慮すると南極点という最大目的の達成には十分な時間といえるでしょう。

感動の「南極点到達」

アムンゼン・スコット基地に到着後、米国南極計画(USAP)の代表者による歓迎を受けます。基地内を案内してくれますので、特別な研究施設で行われる最先端の科学に触れることができます。基地内の売店でお土産の購入もできますが、米国ドルの現金が必要です。また、ゴム印があり、記念に絵葉書などに押せますが、郵便局施設はありません。尚、基地内では、トイレもご利用いただけます。

基地見学後、いよいよ運命の時を迎えます。3,350mもの厚い氷に覆われた地球最南端の地で、360本の経線が収束する南極点に到達です。この地点に立ったお客様は、人類から選ばれた一人ともいえるでしょう。



周囲は風の音と果てしなく広がる白銀の世界…。南極点まで僅か数時間の飛行で到達した私たちの旅。過去の偉大な探検家たちは、計画に数年、そして、ソリやスキー、徒歩で壮絶な旅を重ね、南極点到達までに数ヶ月もの時間を要したのです。この地に辿り着いた先人たちに思いを馳せ、感動の瞬間を存分にかみしめてみてください。

まだ冷めやらぬ興奮と感動を胸に飛行機に搭乗します。この素晴らしい旅は復路の飛行中も続きます。往路とはまた違った光景を眼下に楽しめるはずですが、ユニオン・グレイシャー・ベースキャンプに戻ったら盛大な祝賀晩餐会が開かれます。ほんの一握りの人々しか成し遂げられなかった素晴らしい南極点到達の偉業に乾杯しましょう。

ユニオン・グレイシャー・ベースキャンプ

朝食をとり、スタッフによる最終の天候確認後、いよいよ人類が到達し得る世界最南端へと出発します。同日中の帰還を予定しておりますが、天候状況により途中で野外キャンプの宿泊を余儀なくされる場合がありますので、寝袋や装備品、食料もご用意いたします。

以下には基本的な南極点観光のプランを記述しますが、南極大陸での天候等の予測は難しく、その大いなる自然へと挑みます。詳細及び旅程は記述と異なる場合がありますので予めご了承ください。

第7日目 フンタ・アレナスへの帰還

チャーター機にて、南極大陸を後にします。フンタ・アレナス空港到着後、ANI社のスタッフがお出迎えし、ホテルへお送りいたします。

南緯90度 南極点でのオーバーナイト・キャンプ

90° SOUTH OVERNIGHT

南極点でのオーバーナイト・キャンプは、南極点を訪れるのみならず「地球の最南端・南緯90度」で一夜を過ごす旅です。



●期日と代金(大人/お一人様)

コースNo.	期日	期間	旅行代金
90S.ON	2016年1月3日(日)～9日(土)	7日間	US\$51,300

南極点は、現代の冒険家と極地科学の交差点です。皆様をその活動の中心地へとご案内いたします。

南極点では、ANI社の南極点キャンプに滞在。キャンプ滞在中は、オリエンテーションやスキー・エクスペディションのスキー・チームとの交流やロアール・アムンゼンやロバート・ファルコン・スコットが到達し、歴史的功績を残した地理上の南極点にある「セレモニアル・ポール」での記念撮影、南極環境調査のみならず宇宙の研究を行っている米国の「アムンゼン・スコット基地」の訪問も予定しています。

また、標高約3,350m、外気温-30℃前後で推移する南極点の極限状態も体感します。

南極点でのキャンプは、環境負荷を最小限に抑えながら、可能な限り快適さを追求して設計されています。食事が提供される暖かいダイニングテントでは、室内アクティビティーも行われます。睡眠用テントには加熱システムはありませんが、極地に対応する規格の寝袋と断熱マットを使用し、温かさが保たれています。

興奮と感動に満ちた「南極点でのオーバーナイト・キャンプ」で真の探検と挑戦の醍醐味をお楽しみください。

南極点で利用するテント

南極点で一夜を過ごす探検用テントは、2人用で、風から体温を保護できるようにアウターとインナーの2重構造からなり、断熱性に優れたエアーマットと驚くほど暖かな高品質の寝袋を備えています。テントの頭上スペースには、ゆとりはありませんが、ダッフルバッグの収納に便利なエントランス・ポーチを備えています。



●活動レベル「中」程度/ややチャレンジが必要。

- ①UGCの睡眠用テント内の温度:-20℃～4℃
- ②南極点の標高は、約3,350m。気温:-40℃～-25℃